

重点プロジェクト計画概要一覧表（近畿ブロック）（令和8年度）

都道府県名	番号	計画名	計画期間	分野 (複数可)	活動計画の要約	連携機関（役割分担）				活用事業	
						市町村	JA	民間企業	試験研究機関		その他
滋賀県	1	関係機関と連携した野菜（県産イチゴ品種「みおしずく」）の県産産地の育成	R8～R12	野菜	○地域の現状と課題 県では都市近郊の強みを生かし、実需者と連携した園芸産地づくりを推進しており、特に「みおしずく」を核とした県産産地づくりが課題。 ○目標を達成するための活動方法 農業革新支援部として、県、全農、中央会、JA等を構成員とする「滋賀県園芸産地振興協議会」活動のコーディネートを行い、生産・市場出荷体制の整備や就農者の確保育成に取り組む。		JA ・地域の出荷体制の構築  全農しが ・出荷販売  中央会 ・補助金等事務局		県農業技術振興センター ・栽培指針作成、技術課題の試験研究等	園芸産地振興協議会 ・県域での市場出荷体制の構築、ブランド化  県立農業大学校 ・就農者育成  イチゴ新品種推進チーム： ・各普及指導センターに設置するチーム員	(県) 「みおしずく」流通体制強化事業 (県) しがの園芸産地次世代拠点づくり事業
滋賀県	2	誘客型・市場出荷型産地の形成と新規栽培者の育成・確保および経営発展	R8～R12	果樹	○地域の現状と課題 ブドウを中心に県内の果樹栽培面積、生産者数は増加傾向にあり、県開発技術（根域制限栽培や簡易棚等）が面積拡大の後押しとなっている。新規栽培者の技術習得、早期の経営安定が課題。 ○目標を達成するための活動方法 県推奨品種と新規栽培者が取組やすい早期安定経営や省力化技術等を組合せて推進し、産地形成や新規栽培者の早期安定経営を目指す。	各市町 ・産地構造改革計画の策定・実践	JA ・産地構造改革計画の策定・実践 ・出荷体制の構築 ・生産部会の運営		県農業技術振興センター ・省力樹形栽培における管理技術の指標化に向けた試験研究	園芸産地振興協議会 ・県域での情報共有	(国) 果樹農業生産力増強総合対策
京都府	1	高温対策実証ほ設置事業	R8～R8	(例) 普通畑作物 稲作 普通畑作物 野菜 果樹 花き 持続可能な農業 普及指導活動	【例】 ○地域の現状と課題 記録的な猛暑の影響により、農産物等の生育不良による収量の減少や品質低下等が生じており、多くの農業者の経営に大きな影響を与えている。今後、高温を含めた過去にない極端な気象状況は、継続的に発生することが想定されている。 ○目標を達成するための活動方法 農林水産技術センター、農業大学校及び農業改良普及センターが主体となり、農業者及び農業関係団体と連携した高温対策に係る実証ほ設置活動を通じて、高温環境に適応した栽培体系の構築を図るとともに、それらの栽培体系を現地に迅速に展開するため、農業改良普及センターの情報発信機能の強化を図る。			実証ほを設置。 普及センターとの連携。	普及センター  ① 地域又は対象品目ごとの高温対策会議（普及センターと関係団体が出席する会議）の実施 ② 高温対策成果発表会の実施 ③ 高温対策マニュアル・曆の作成及び配布 ④ メール、SNS等、情報発信体制の整備と実証活動や生育状況に係る情報の発信  なお、事業の全体総括は革新支援専門員が行い、必要に応じて本庁農産課、普及センター、研究機関との調整・情報共有を行う	(国) 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	
大阪府	1	ビジネスマインドをもつ農業者の育成	R4～R8	経営	○「おおさか農政アクションプラン」として、ビジネスマインドを持つ農業者の育成を目標としており、売上1,000万円以上の農業者を増やし、経営改善意欲の高い新規就農者や産地の中核農業者等、農業者150名の販売金額を5年間で6億4100万円の増加を目指している。 ○そのため、より一層の経営強化を図る手段として雇用労働力の活用強化や雇用労力受入準備、環境・条件整備等について、相談対応や各種資料を作成する等の支援を行う。		JAグループ 府内JAと協力し、事業を推進			(一財) 大阪府みどり公社 日本政策金融公庫 専門家  経営改善を目指す農業者の課題に応じた専門家を選定・派遣	(国) 農業経営法人化支援総合事業 (府) 農の成長産業化推進事業
兵庫県	1	但馬牛子牛の育成期の飼料の組成内容や給与方法の改善による成育向上の検討	R6～R8	畜産	【背景】 ○子牛市場価格は安定しているが、子牛の発育による価格差が顕著になってきている。一方、肥育農家からは過肥でなく、粗飼料多給による腹づくりができた子牛が求められている。 ○現在、県下で利用されている子牛飼養管理マニュアル等記載の飼料給与量と、日本飼養標準に基づいて飼料計算すると、離乳後の4～5ヶ月齢でエネルギー及びタンパク質とも不足する。 ○兵庫県北部農業技術センターは、令和3年度から内分泌及び第一胃機能に基づいた但馬牛育成飼料給与体系の確立の試験研究を行っている。 【活動】 ○普及指導員や連携機関とともに、子牛への飼料給与内容や飼養管理状況を聞き取り、成育との関連性について現地調査を行う。 ○成育の影響や疾病等との関連を明らかにし、試験研究結果とあわせて但馬牛子牛育成の改善に活用できるようにする。	但馬牛を飼養している農家がいる市町村 但馬牛の振興に関する情報提供	但馬牛を飼養している農家がいるJA 但馬牛の飼養管理に関する情報提供		北部農業技術センター 内分泌および第一胃機能に基づいた但馬牛育成期飼料給与体系の確立		
兵庫県	2	イチジク樹勢低下対策技術の検討ならびに普及	R6～R8	果樹	【背景】 ○県内では約64haのイチジク栽培面積があるが、老木化、ネコブセンチュウやいや地現象等による樹勢低下などが影響して生産者の意欲は低下し、面積は減少傾向にある。イチジクの樹勢回復方策が求められている。 【活動】 ○強勢品種「Zidi」を台木とした接ぎ木苗の普及を図る。 ○新規生産者の棚り起しと優良苗の供給により、栽培面積の拡大と生産量の増加を図る。 ○県立農林水産技術総合センターが開発した「オーバーラップ整枝法」との組み合わせにより生産安定を図る。		強勢品種「Zidi」を台木とした接ぎ木苗の製造・販売		県立農林水産技術総合センター 農産園芸部 開発した接ぎ木苗ならびに整枝法の普及		
兵庫県	3	グリーンな栽培体系への転換を目指す土づくり・化学肥料削減・化学合成農薬削減に向けた技術の普及	R5～R8	病害虫・土壌肥料	【背景】 ○みどりの食料システム戦略による持続可能な食料生産システムの構築が求められる中、兵庫県でも平成31年度から、第2期推進計画で省力かつ実用的な代替技術の普及を行うこととしている。 ○そのため、産地にやさしい栽培技術かつ省力化に資する技術への取組を推進し普及させることが求められており、試験研究などによる実用化技術を迅速に現地で普及拡大には必要がある。 【活動】 ○普及センターと連携し、現地実証ほによる技術導入と、普及拡大を後押しするための補助事業活用に向けた行政との連携を行う。 ・補助事業活用に向けた行政への提案 ・当該技術を盛り込んだ栽培マニュアルの作成  ※環境創造型農業 農業の自然循環機能の維持増進を図るため、土づくり技術を基本とし、化学的に合成された肥料及び農薬に過度に依存しない「化学合成肥料低減技術」と「化学合成農薬低減技術」を加えた3技術を同時に導入する持続的な農業生産方式	グリーンな栽培体系への転換サポート事業に取り組む市町村(神戸市、豊岡市、南あわじ市、三木市、養父市) (各種技術導入に必要な実証ほ等の設置・運営、技術導入に必要な補助事業の導入等)	グリーンな栽培体系への転換サポート事業に取り組む市町村等と連携しているJA(JA兵庫六甲、JAたじま、JAあわじ高、JA日の出)  (実証ほ等の運営支援、実証技術を普及するための栽培暦の作成等)	イオンアグリ創造株式会社 (実証ほの設置・運営、導入技術により成果を得た生産物の販売)	県立農林水産技術総合センター 病害虫部・農産園芸部・淡路農業技術センター (導入技術に関する必要な助言)	神戸市農業活性化協議会、コウノトリ育む農法技術向上協議会(豊岡農林事務所)、南あわじ市先導農業技術研究会、兵庫県三木市グリーンな栽培体系への転換協議会 (市町、JA、普及センター等で構成する事業実施主体)	(国) みどりの食料システム戦略緊急対策交付金(うちグリーンな栽培体系への転換サポート事業)

都道府県名	番号	計画名	計画期間	分野 (複数可)	活動計画の要約	連携機関(役割分担)				活用事業	
						市町村	JA	民間企業	試験研究機関		その他
兵庫県	4	スマート農業技術を活用した水稲の低コスト・省力化栽培技術の検討	R8 ~ R10	水稲	<p>【背景】 ○兵庫県は稲作栽培が高齢化、担い手不足、収益低下により、低コスト・省力化技術が求められており、スマート農業技術の導入による農作業の効率化が進みつつある。 ○大規模稲作経営者、集落営農組織等の担い手農家を中心にドローンの導入が進み、水稲の病害虫防除、除草剤や肥料散布、湛水直播栽培等に活用され、作業分散による乾田直播栽培も増えつつある。直播栽培面積はR6から増加に転じたが、栽培技術が低く、発芽不良、雑草繁茂、収量低下が生じており、安定生産が出来ていない。 ○兵庫県は環境にやさしい水稲栽培を進めており、無農薬栽培が増えつつあったが、雑草の発生が多く、雑草除去の労働負荷や人件費の増加、収量低下で、栽培面積が伸び悩んでいる。 【活動】 ○普及センター、農業技術センター等と連携して、現地試験や実証ほ等を通じ、地域におけるドローン湛水直播栽培や乾田直播栽培の生産安定技術の確立、向正条田による条間・株間除草技術の確立を行い、安定生産、収益向上を目指す。</p>	稲美町、豊岡市 無農薬栽培のPRと学校給食への供給	全農兵庫 ドローン湛水直播栽培、乾田直播栽培の講習会の開催 ドローン直播播種機による作業委託 JA共済 兼用除草機のレンタル、無農薬栽培の講習会の開催 JA兵庫六甲 直播栽培作業委託 JA兵庫南 乾田直播栽培の講習会の開催 兼用除草機のレンタル、無農薬栽培による講習会の開催	(株) シンジェンタジャパン リソグアの講習会の開催 (株) クボタ 向正条田播種機の実演	農業技術センター 農産園芸部 技術支援	全国農業システム化研究会 スマート農業技術等による土地利用率の生産性向上に関する実証調査	(県)兵庫米革新生産技術実証事業 (県)スマート農業活用イノベーション事業
兵庫県	5	農畜産物のブランド戦略の推進と普及支援活動の在り方の研究	R7 ~ R8	経営	<p>【背景】 ○兵庫県は、産品が持つブランド力の優位性を明確化し、その付加価値を高め有利に販売することで生産者の所得向上を図る為の支援施策を講じている。 また、県下には地域ブランドや個人ブランドがあり、普及の現場ではブランド力を活かして生産振興を図りたい地域や事業者等と連携協力して日々活動している。 【活動】 ○県下各地域にあるブランド(広域・地域・個人)の実態を調査し、それらブランド力の維持、拡大の取組や管理体制について研究する。 ○ブランド商品の生産振興と望ましい普及指導活動のあり方について検討する。</p>	該当する商品の生産振興の為に補助事業等を措置している市町(丹波篠山市等)	地域ブランドを管理する団体の事務及び活動支援(事務向)	原材料として広域及び地域ブランド産品を扱う企業の宣伝、ブランド管理	[任意]広域ブランドを管理する団体(神戸肉流通推進協議会等)	(県)持続性の高いひょうごの「農」推進活動事業 (県)農業経営・就業サポート推進事業	
兵庫県	6	レタス産地の活性化に向けた方策の検討	R6 ~ R8	野菜	<p>【背景】 ○レタスの栽培面積の維持・拡大に向け、全農兵庫、JAあわじ島、南あわじ市、南淡路農業改良普及センターで組織する協議会で検討する。具体的には、レタス出荷・調システムの現地導入、トンネル栽培の省力的な方法の実証、無包装出荷方法の検討、集出荷施設での集荷時間の変更、新規栽培者の開拓など総合的な対策を検討する。 【活動】 ○兵庫県は淡路島の南あわじ市を中心に秋冬レタスの栽培が盛んである。 ○近年、高齢化や価格の低迷などによりレタスの栽培面積が減少傾向にある。</p>	JAあわじ島による独自のトンネル資材試験の実施	JAあわじ島による独自のトンネル資材試験の実施	淡路農業技術センター・JAと連携した淡路地域における高品位安定生産のための品種選定	-	-	
兵庫県	7	黒大豆枝豆の冷凍・保存技術の向上と規格外品の利用拡大	R7 ~ R9	6次産業化	<p>【背景】 ○兵庫県では、社会情勢や環境変化に対応できる持続性の高い農業・農村の実現に取り組んでおり、その一つに黒大豆枝豆の産地づくりがある。 ○収穫や出荷調整作業の機械化により黒大豆枝豆の作付面積は拡大しつつあるが、規格外品の利用は伸び悩んでいる。 【活動】 ○普及センターや試験研究と連携し、福祉事業所等加工現場での黒大豆枝豆の冷凍・保存技術を向上することにより、規格外品の利用拡大や新商品の開発を目指す。</p>	三田市、宝塚市、川西市、西宮市 ・農業振興に関する情報共有	J A兵庫六甲 ・J A兵庫六甲と連携し、市町村の枠を超えた講習会の開催等広域の産地づくり実証	特定非営利活動法人とんとうん ・管内の福祉事業者と連携し、1次・2次加工品の品質・保存性の向上と未利用豆の取引量の増加を図る。	北部農業技術センター ・前処理方法の確立による品質向上	宝塚健康福祉事務所 ・食品衛生許可に係る衛生指導	(県)持続性の高いひょうごの「農」推進活動事業
兵庫県	8	花きの光環境制御技術による生産改善の検討	R6 ~ R8	花き	<p>【背景】 ○兵庫県では、施設花きはハイパハウスを主でカーネーション、トルコギョウ等の切花、花壇用苗物が生産されているが、環境制御技術の導入は進んでいない。 ○カーネーション、花壇用苗物の一部でLED照明を利用した栽培が検討されている。 【活動】 ○カーネーションで、LED照明を活用した補光や明期延長の活用による生産性向上の可能性を検討する。 ○花壇用苗物の冬春出荷品目で、LED照明を活用した出荷の前進化など作期の改善を検討する。</p>	-	-	農業技術センター 淡路農業技術センター ・カーネーションのLED補光等による高品質栽培技術の開発及び実証 ・花壇用のLED光照射による新たな作型の検討	花き生産供給力強化協議会 ・カーネーション部会 ・高湿下におけるカーネーション生育制御技術の開発・実証事業	-	
奈良県	1	イチゴ新品種「奈乃華」の産地育成	R5 ~ R9	園芸(野菜)	<p>○地域の現状と課題 県が育成したイチゴ「奈乃華」を令和3年に品種登録出した。食味が良く果実硬度が高くて果皮がしっかりとっている事から輸出等を含めた流通に適しているが、心止まりが発生しやうい、冬期の草勢低下、収量が低い等の課題がある。 そこで、「奈乃華」の生産安定に向けて、適した管理技術の普及とともに、輸出拡大に向けた支援に取り組む。 ○目標を達成するための活動方法 ・夏秋期の高温対策技術の検討 ・「奈乃華」栽培安定のための講習会開催 ・台風向け防除基準の改訂</p>	・JAならん(現地指導、組織体制整備)	・生産者団体(栽培試験)	・農研センター(栽培適性・実証試験等)	・革新支援センター(県域での連絡調整) ・行政(生産拡大支援事業、流通調査) ・振興事務所(現地調査、現地指導)	リーディング品目支援事業	
奈良県	2	小麦新品種「はるみずき」の生産拡大	R4 ~ R8	普通畑作物	<p>○地域の現状と課題 ・県下の小麦品種は「ふくはるか」が主であるが、実需者からはよりタンパク含量の高い品種が求められている。 ・R6年産より「ふくはるか」から「はるみずき」への全面切替を行ったが、赤かび病の発生および倒伏が発生し、それらに対する対策が求められている。 ○目標を達成するための活動方法 ・よりタンパク含量が高く、近隣府県でも導入が進んでいる「はるみずき」の迅速な普及と拡大を目指す。 ・赤かび病への有効な防除対策の指導、倒伏対策としての適切な播種量の調査および検討</p>	・JAならん(採種圃指導)	・生産者団体(栽培試験)	・農研センター(実需者評価取りまとめ)	・革新支援センター(県域での連絡調整) ・振興事務所(現地調査)	-	
奈良県	3	新規品目の導入等による花木産地の活性化支援	R8 ~ R10	園芸(花き)	<p>○地域の現状と課題 県内の花木産地では周年での出荷が行われているが、一定の期間が端境期となっている。また、高齢化がすすんでおり、それらに対応するための新規品目の導入が求められている。 ○目標を達成するための活動方法 市場性が高く、端境期に出荷でき、軽量な品目について、その栽培特性の把握、効率的な生産管理技術を開発するとともに、現地での普及を促進するための実証などの支援を行う。 ・新規導入品目として選定した品目の栽培適性の検討 ・現地圃場への導入に向けた試作による課題把握、有利販売などにむけた技術検証</p>	・JAならん(現地指導、組織体制整備)	・生産者団体(栽培試験)	・農研センター(栽培適性・実証試験等)	・革新支援センター(県域での連絡調整) ・行政(生産拡大支援事業) ・振興事務所(現地調査、現地指導)	チャレンジ品目支援事業	
和歌山県	1	若手生産者を中心としたいちご産地の再興	R6 ~ R8	野菜、就農、経営	<p>○地域の現状と課題 ・経験年数の若い生産者の栽培技術が未熟であり、炭そ病による減収や収量不安定が懸念される ・いちごは育苗から収穫までの多くの管理作業があり、技術研修が必要 ・初期投資が大きく、関係機関のサポートが必要 ○目標を達成するための活動方法 ・若手生産者を重点対象とし、病害対策による安定生産や環境制御技術導入等による収量増加を支援 ・受入協議会による研修生受入と新規就農者への支援</p>	和歌山県 受入協議会受入支援	和歌山県農業試験場 技術指導	-	(県)野菜花き産地強化事業 (県)わかやま版新規就農者産地受入体制強化事業		

都道府県名	番号	計画名	計画期間	分野 (複数可)	活動計画の要約	連携機関(役割分担)				活用事業	
						市町村	JA	民間企業	試験研究機関		その他
和歌山県	2	次代を担ういちご生産者の確保・育成	R6～R8	野菜、就農、経営	○地域の現状と課題 ・いちご就農プロセスや栽培体系が複雑なため、研修・就農を断念する者が多い。 ・研修生の多くが農業未経験の移住者であるため、栽培技術の習得や補助事業の活用方法、人脈形成に不安を抱えている。 ・若手生産者が技術向上や経営相談できる環境が整備されていない。  ○目標を達成するための活動方法 ・いちご就農ガイダンス作成・活用による就農相談対応 ・講義・研修会の開催や定期的な個別面談、生産者との交流機会の提供による研修生への就農サポート ・若手生産者コミュニティ形成による相互成長の場の整備 ・モニタリング機器活用による篤農家技術の早期継承	紀の川市 技術習得支援等での連携	JAわかやま 個別指導等での連携		和歌山県農業試験場 研修会指導		(国) 就農準備資金 (県) 産地受入研修支援事業
和歌山県	3	伊都地域の将来を見据えた担い手対策	R6～R8	野菜、果樹、就農、経営	○地域の現状と課題 ・農業者の高齢化、担い手不足による労働力不足が深刻 ・新規就農者および兼業農家も含めた担い手の育成、確保が必要  ○目標を達成するための活動方法 ・研修会等を通じた新規就農者の育成と定着支援 ・Uターン、定年帰農者及び兼業農家への技術支援	橋本市、かつらぎ町、九度山町、高野町 就農相談等での連携	J Aわかやま 技術習得支援等での連携				(国) 就農準備資金・経営開始資金
和歌山県	4	有田みかん産地 産地受入協議会を軸とした新規就農者の確保及び育成支援	R6～R8	果樹、就農、経営	○地域の現状と課題 ・産地受入協議会が未設立の自治体あり、また受入農家を増やすなど、安定して就農希望者を受け入れる体制強化が急務 ・就農後、収量や品質が安定せず収入(所得)確保の困難なケース多く、加えて、地域に溶け込めない移住者も存在  ○目標を達成するための活動方法 ・市町における受入体制の構築・強化を支援 ・新規就農希望者の就業に向けた支援及び新規就農者の経営安定と定着に向けた支援	有田市、有田川町、湯浅町、広川町 就農相談会開催での連携	J Aわかやま 就農相談会開催での連携		和歌山県果樹試験場 研修会での指導	産地受入協議会 就農相談会開催での連携	(国) 新規就農者育成総合対策 (県) わかやま版新規就農者産地受入体制整備支援事業、農地中間管理事業、農地再生活用支援事業
和歌山県	5	クビアカツヤカミキリ対策の強化とうめの安定生産による産地強化	R6～R8	果樹	○地域の現状と課題 ・クビアカツヤカミキリの発生が管内で初めて確認され、被害が拡大している ・高齢化による青梅生産量の減少や気象条件等による梅生産の不安定、新技術、新品種の普及推進が課題  ○目標を達成するための活動方法 ・被害拡大を抑制するため、発生地域での被害調査や発生警戒周知、対応マニュアル作成等を実施 ・低樹高化と堆心処理の導入により省力化と青梅生産拡大を推進 ・実証展示ほを設置し、「露園」の着果試験を実施	御坊市、日高町、由良町、美浜町、日高川町、印南町、みなべ町 防除技術周知等	J Aわかやま 防除技術周知		和歌山県うめ研究所 技術指導		
和歌山県	6	うめの超省力技術管理技術と低樹高コンパクト整枝の導入推進による産地維持	R6～R8	果樹	○地域の現状と課題 ・農業者の高齢化や労働力不足が進行しているため、収穫やせん定等の管理作業を大幅に軽減させる技術の導入が必要である  ○目標を達成するための活動方法 ・成木のカットバックや幼木のコンパクト整枝による管理作業軽減効果の啓発及び導入推進 ・超省力技術の普及加速化に向けた指導者及び請負グループの育成		J Aわかやま 技術の推進		和歌山県うめ研究所 技術指導		
和歌山県	7	いちご産地の維持活性化 やる気のある産地づくり	R6～R8	野菜、就農、6次産業化	○地域の現状と課題 ・新規栽培者の栽培技術が未熟であり、特に肥培管理等基礎技術の早期習得が必要 ・既存生産者や新規生産者の高品質安定生産による所得向上 ・新たな加工グループの確保及び育成  ○目標を達成するための活動方法 ・これまでに作成したいちご新規就農支援プログラムを活用した受入推進 ・栽培管理及び品質向上対策の支援 ・新たな加工グループの育成	新宮市、那智勝浦町、太地町、串本町、古座川町、北山村 就農支援での連携等	J Aわかやま 就農支援での連携 栽培管理支援				(県) 野菜花き産地強化事業 (国) 新規就農者育成総合対策